



町村自治

4月 2017 平成 29年

● 発行所 青森県町村会 ● 編集発行人 小笠原 靖介 ● 印刷所 長尾印刷(株)
〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号(年4回発行) TEL 017-723-1331 FAX 017-723-1347
ホームページ <http://www.aomori-chousonkai.jp/> E-mail ack@aomori-chousonkai.jp



野辺地町の味覚が満載！

「常夜燈みなと祭り」&「のへじ活き活き常夜燈市場」

5月中旬に常夜燈公園隣で開催される「常夜燈みなと祭り」は活ホタテの詰め放題や旬の魚介類が大特価で販売され大人気！昨年10月には敷地内に産直施設「のへじ活き活き常夜燈市場」がオープンし、年間を通じて野辺地町の味覚を楽しむことができるようになりました！

【No. 1214】

〔「常夜燈みなと祭り」&「のへじ活き活き常夜燈市場」 野辺地町〕



特別区全国連携プロジェクト

- 本会定期総会…………… 2
- 自治功労者表彰名簿…………… 4
- 道路除排雪経費の財政支援等に関する要望…………… 6
- まちづくりへの挑戦 板柳町…………… 12
- いまが旬！…………… 14
- 随想 中谷野辺地町長…………… 18



青森県・函館デザインエーションキャンペーン
マスコットキャラクター「いくべえ」®

本会定期総会

地方創生の推進、地方交付税等の一般財源総額確保など決議

永年の功績を称えて全国・県表彰



定期総会には町村長をはじめ約40人が出席



吉田会長があいさつ

本会は二月二十四日、青森市のラ・プラス青い森で定期総会を開催し、平成二十九年度事業計画及び予算などを決定したほか、地方創生の推進など十一項目の決議を採択した。また、議事に先立ち、全国町村会表彰の伝達及び青森県町村会表彰として自治功勞者の表彰を行った。

定期総会には、町村長をはじめ来賓及び被表彰者など約四十人が出席した。

はじめに吉田会長があいさつし、「本日表彰を受けられる皆様には、このたびの榮譽に対し心から敬意を表し、お喜びを申し上げる。平成二十九年度の地方財政対策では、『まち・ひと・しごと創生事業費』が引き続き一兆円が計上されるとともに地方創生推進交付金について、対前年度と同額の一千億円を確保し、運用の弾力化を図ったことは地方の本格的な事業展開が可能となるものである。我々町村長は、これからも力を合わせ、地域の個性を最大限に発揮しながら地域振興施策を展開し、住民一人ひとりが『この町や村に住んで良かった』と実感できる町村の実現のため

めに、邁進していこうではないか」と述べた。

表彰

自治功勞者

総会では、全国町村会表彰として自治功勞者の吉田深浦町長を表彰した。また、県町村会表彰として自治功勞者の関西目屋村長のほか、一般職員百八十七名（代表・階上町木村美幸氏）に表彰状と記念品を授与した。

最後に、被表彰者を代表して関西目屋村長が謝辞を述べた。

表彰終了後、来賓の三村知事が祝辞を述べ、また、同じく来賓として出席の澤口県町村議会議長会長、田中県総務部長、安藤県総務部市町村課長が紹介された。



三村知事が来賓祝辞を述べる

議事

平成二十九年 予算を決定

引き続き、吉田会長が議長となつて議事に入り、はじめに、平成二十九年事業計画案及び予算案など議案五件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

また、金澤副会長が地方創生の推進や地方交付税等一般財源総額の確保など十一項目の決議を朗読し、満場一致で採択した。なお、決議の実行運動方法については、理事会に一任することとした。

○議案第一号 平成二十九年
度青森県町村会事業計画



決議文を読み上げる金澤副会長

案（抜粋） 〓 町村の多くは農山漁村地域にあり、文化・伝統の継承はもとより、食料の供給、水源涵養、自然環境の保全等、極めて大きな役割を果たしてきた。しかしながら、町村を取りまく環境は、急速な少子高齢化や人口減少、基幹産業である農林水産業の衰退など、極めて厳しい環境下にある。住民に最も身近な町村が、将来にわたり住民の安全・安心を確保する重責を担い続けていくためには、財政基盤の充実・強化が喫緊の課題であり、また、一億総活躍の実現に向けた更なる地方創生の推進のため、町村は自主的・自立的に地域特性や資源を活かした様々な施策を展開

し、豊かな住民生活と個性溢れる多様な地域づくりに取り組んでいかなければならない。このため、平成二十九年年度の会務運営は、県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、町村財政基盤の強化など町村が抱える諸課題の解決に向けた政務活動を、県内町村の創意と英知を結集しながら積極的に実施する。

また、本会の主要事業である町村長の健康維持増進のための健康管理事業をはじめ、町村長並びに町村職員の研修、表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の規制、会報活動等をこれまで以上に効果的・効率的に実施していく。

共済関係事業については、公有財産の保全、町村職員の生活安定を図る立場から、市町村等に対して、加入・継続を積極的に推進し、もつて町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していくものである。

○議案第二号 平成二十九年
度青森県町村会会費案 〓 会費総額は、六百十七万三千円とする。

決議案（項目抜粋）

- 1 一億総活躍社会の実現に向け、地方創生を推進すること
- 1 「まち・ひと・しごと創生事業費」を拡充するとともに、歳出特別枠を堅持し、地方交付税等の一般財源総額を確保すること
- 1 償却資産に係る固定資産税及びゴルフ場利用税を堅持するとともに、全国森林環境税を早期に導入すること
- 1 農林漁業者が将来にわたって意欲と希望を持って経営に取り組めるよう、グローバル化に対応した農林水産業の強力な振興施策、及び万全なTPP対策を講じるとともに、食の安全・安心の確保を図ること
- 1 農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図るとともに、田園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること
- 1 経済の活性化を図るため、地域資源を最大限活用した魅力ある産業の創出等、経済・雇用施策を強力に推進すること
- 1 地方分権改革を推進すること
- 1 道州制は導入しないこと
- 1 地域の魅力をより一層高めるとともに、東北新幹線及び北海道新幹線、航空機等を活用した観光振興を推進し、交流人口の拡大を図ること
- 1 防災・減災・老朽化対策を強力に推進するとともに、道路、河川、生活環境等の積極的な整備促進を図ること
- 1 急速な少子高齢化や人口減少に対応した医療・保健・福祉・子育て支援施策を強力に推進するとともに、地域医療の確保・充実のため医師確保対策を推進すること

○議案第三号 平成二十九年
度青森県町村会一般会計予算
案 〓 収入支出予算総額を、収
入支出それぞれ三億八百二十
三万六千円（対前年度比二千
九百三十六万七千円、十・五
増）とする。

○議案第四号 平成二十九年
度青森県町村会公有物件共済
事業等特別会計予算案 〓 経常
収入支出を、四千五百三十六万
千円とする。

○議案第五号 平成二十八
年度青森県町村会一般会計補正
予算（補正第二号）案 〓 収入
支出予算の総額に収入支出そ
れぞれ三十三万四千円を追加
し、収入支出予算の総額を二
億八千四百三十一万三千円と
する。

全国町村会表彰
自治功労者（敬称略）

町村長（就任三期）

西津軽郡深浦町

吉田 満

青森県町村会表彰
自治功労者（敬称略）

町村長（在職十年以上）

中津軽郡西目屋村

関 和典

一般職の職員

（在職二十五年以上）

平内町 遠嶋千代光、垂井智也、工藤薫

外ヶ浜町 松岡千陽、安田真恵智、森内美代子

蓬田村 田中光明、高田徹、中川孝治



関西目屋村長が被表彰者を代表して謝辞

鱈ヶ沢町 菊谷由紀子、小野一成、工藤成人、岩本思誠、三上竹久、工藤輝幸、田村光春、長谷川英士、神哲也、佐藤一也、新保英樹

深浦町 寺沢美千子、松沢公博、山本昭彦、中原恒久、福沢久弥、伊藤光彦

藤崎町 石井孝、神秀樹、樋口睦子

大鰐町 木田昭人、山口文博、吹田秀世、岩崎恵美、野呂裕子、倉橋恒生

田舎館村 竹内哲也、鈴木勝、今井英乃

板柳町 三浦等、工藤秀磨、大場宣仁、小枝秀博、横山香貴田育美、長内博文

鶴田町 八木橋成人、渋谷寿、太田勉、福士昭則、鈴木秀樹、古館真由美、澁谷真一、齊藤満

中泊町 藤田順悦、古川幹人、下山貴子、今芳文、成澤良子

野辺地町 二ッ森知貴

七戸町 鳥谷部初男、附田敬吾、鳥谷部勉、鳥谷部慎一郎、高田美由紀、高田博範、西野政彦、田中健一、中村陽一、向中野洋人

六戸町 畠山正子、辻浦智賀子

横浜町 畑中晴美

東北町 河島徳悦、甲地尚彦、大久保恵子、洞内一也

おいらせ町 佐々木恵美、蛭名成枝、相坂弘美、種市彩子、澤頭満

六ヶ所村 尾ヶ瀬一成、齋藤隆、川畑一、高村博行、亀田静香、中村千恵、高橋かおる、橋本勝夫、三上江理子

大間町 中新由記子、村川研二

東通村 石田義克、橋本直哉

風間浦村 本間浩

佐井村 田名部二郎

三戸町 武沢忠正、清水久美子、中島規元、類家淳一、佐藤弘子

五戸町 高谷忠憲、手倉森崇、小保内一典、櫻井篤史、赤坂和浩、川崎純一、寺澤博幸、三浦洋子

田子町 横田智子、岩間無界、稲村泰子、沼田けい子、佐藤謙一、野田始、中澤一郎、大坊啓子

南部町 夏坂和徳、工藤淳一、庭田健、星川恵子、木藤江里子、松山美恵子、西館由起子、元沢清則、村木護、藤原正利、戸室久子、松原美貴子、谷内文彦、川崎勇悦、市澤里江、山本民子、福島久枝、四戸裕子、西館笑子、福永幸悦、山田まゆみ、渡辺誠一郎、明戸真由美、高柳恵美子、松原貴子、高田紀子、沖田英実、新藤満、佐々木尚子、寺澤富士子、宮森正明

階上町 鹿原昭、佐京実、木村美幸、木村真由美、大谷地勝年

新郷村 横沢幸治

中部上北広域事業組合 大坂真由美、工藤早苗、市川亜紀子、蓬畑進一、中村臣憲、蛭名博幸、中野昇、田中利明、成田史治、小館淳一、山田美奈子、大城多恵子、枋木信彦、石田貴章

田子町 横田智子、岩間無界、稲村泰子、沼田けい子、佐藤謙一、野田始、中澤一郎、大坊啓子

南部町 夏坂和徳、工藤淳一、庭田健、星川恵子、木藤江里子、松山美恵子、西館由起子、元沢清則、村木護、藤原正利、戸室久子、松原美貴子、谷内文彦、川崎勇悦、市澤里江、山本民子、福島久枝、四戸裕子、西館笑子、福永幸悦、山田まゆみ、渡辺誠一郎、明戸真由美、高柳恵美子、松原貴子、高田紀子、沖田英実、新藤満、佐々木尚子、寺澤富士子、宮森正明

階上町 鹿原昭、佐京実、木村美幸、木村真由美、大谷地勝年

新郷村 横沢幸治

中部上北広域事業組合 大坂真由美、工藤早苗、市川亜紀子、蓬畑進一、中村臣憲、蛭名博幸、中野昇、田中利明、成田史治、小館淳一、山田美奈子、大城多恵子、枋木信彦、石田貴章

田子町 横田智子、岩間無界、稲村泰子、沼田けい子、佐藤謙一、野田始、中澤一郎、大坊啓子

南部町 夏坂和徳、工藤淳一、庭田健、星川恵子、木藤江里子、松山美恵子、西館由起子、元沢清則、村木護、藤原正利、戸室久子、松原美貴子、谷内文彦、川崎勇悦、市澤里江、山本民子、福島久枝、四戸裕子、西館笑子、福永幸悦、山田まゆみ、渡辺誠一郎、明戸真由美、高柳恵美子、松原貴子、高田紀子、沖田英実、新藤満、佐々木尚子、寺澤富士子、宮森正明

階上町 鹿原昭、佐京実、木村美幸、木村真由美、大谷地勝年

新郷村 横沢幸治

中部上北広域事業組合 大坂真由美、工藤早苗、市川亜紀子、蓬畑進一、中村臣憲、蛭名博幸、中野昇、田中利明、成田史治、小館淳一、山田美奈子、大城多恵子、枋木信彦、石田貴章

田子町 横田智子、岩間無界、稲村泰子、沼田けい子、佐藤謙一、野田始、中澤一郎、大坊啓子

南部町 夏坂和徳、工藤淳一、庭田健、星川恵子、木藤江里子、松山美恵子、西館由起子、元沢清則、村木護、藤原正利、戸室久子、松原美貴子、谷内文彦、川崎勇悦、市澤里江、山本民子、福島久枝、四戸裕子、西館笑子、福永幸悦、山田まゆみ、渡辺誠一郎、明戸真由美、高柳恵美子、松原貴子、高田紀子、沖田英実、新藤満、佐々木尚子、寺澤富士子、宮森正明

階上町 鹿原昭、佐京実、木村美幸、木村真由美、大谷地勝年

新郷村 横沢幸治

中部上北広域事業組合 大坂真由美、工藤早苗、市川亜紀子、蓬畑進一、中村臣憲、蛭名博幸、中野昇、田中利明、成田史治、小館淳一、山田美奈子、大城多恵子、枋木信彦、石田貴章

田子町 横田智子、岩間無界、稲村泰子、沼田けい子、佐藤謙一、野田始、中澤一郎、大坊啓子

南部町 夏坂和徳、工藤淳一、庭田健、星川恵子、木藤江里子、松山美恵子、西館由起子、元沢清則、村木護、藤原正利、戸室久子、松原美貴子、谷内文彦、川崎勇悦、市澤里江、山本民子、福島久枝、四戸裕子、西館笑子、福永幸悦、山田まゆみ、渡辺誠一郎、明戸真由美、高柳恵美子、松原貴子、高田紀子、沖田英実、新藤満、佐々木尚子、寺澤富士子、宮森正明

階上町 鹿原昭、佐京実、木村美幸、木村真由美、大谷地勝年

新郷村 横沢幸治

中部上北広域事業組合 大坂真由美、工藤早苗、市川亜紀子、蓬畑進一、中村臣憲、蛭名博幸、中野昇、田中利明、成田史治、小館淳一、山田美奈子、大城多恵子、枋木信彦、石田貴章



左から吉田深浦町長、関西目屋村長、階上町の木村氏

北部上北広域事務組合 中村英樹、佐藤渉、堀野寛明、上野昭二、古泊道行、中村貴幸、桜井秀企、藤ヶ森直人、上野修二、二ッ森徹、木村正人、清水目正史、高村悦子、船橋亜由美、五十嵐ひとみ、中村菜美子、上原子謙

三戸地区環境整備事務組合 諏訪内敬

鱈ヶ沢地区消防事務組合 戸澤純

平成29年度事業計画などを審議

平成29年第1回理事会・生協支部委員会

本会は二月二十四日の定期総会に先立ち、二月三日、青森市のラ・プラス青い森で、平成二十九年第一回理事会を開催した。出席者は、吉田会長をはじめ役員町村長十一人。理事会では、平成二十九年

度事業計画などの議案五件及び定期総会次第第などの協議事項六件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。事業計画及び予算案は二月二十四日開催の本会定期総会に提出することとした。

議案

- 議案第一号 平成二十九年度青森県町村会事業計画案
- 議案第二号 平成二十九年度青森県町村会会費案
- 議案第三号 平成二十九年度青森県町村会一般会計予算案
- 議案第四号 平成二十九年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案
- 議案第五号 平成二十八年度青森県町村一般会計補正予算（補正第二号）案



- 協議事項一 平成二十九年第一回青森県町村会定期総会次第案並びに案件について
- 協議事項二 決議案に

ついて

- 協議事項三 平成三十年年度予算編成及び施策に関する要望運動案について
- 協議事項四 町村長の健康管理研修案について
- 協議事項五 北東北三県町村長中央研修会・交流会の実施について

本会は三月三十日、青森市のラ・プラス青い森で平成二十九年第二回理事会を開催した。出席者は、吉田会長をはじめ役員町村長十二人。理事会では、平成二十九年

度市町村長会議（町村の部）における提言事項について協議し、原案どおり決定した。そのほか、新聞を活用した主体性豊かな人材教育について、事務局より説明した。

市町村長会議提言事項を決定

第2回理事会

- 1 地方創生の推進について
- 2 町村財政基盤の充実強化について
- 3 電子行政の推進について
- 4 海岸漂着物の廃棄処理対策について
- 5 医療・保健・福祉・子育て支援施策の推進について
- 6 雇用及び移住・定住者促進施策の推進について
- 7 農林水産業の振興について
- 8 社会基盤の整備促進等について

- 協議事項六 平成二十九年の町村会会長等の選任について
- 協議事項七 一件を原案どおり承認、決定し、本会定期総会に報告することとした。

第一回生協支部委員会

理事会終了後、引き続き、全国町村職員生活協同組合支部は委員会を開催し、議案

- 議案第一号 平成二十九年全国町村職員生活協同組合青森県支部会計予算案

- 9 観光客誘客対策の強化について
- 10 原子力施設の安全対策及びエネルギー政策について
- 11 栄養教諭の配置促進について



平成二十九年予算など決定

県市町村総合事務組合

県市町村総合事務組合は二月二十四日、青森市のラ・プラス青い森で平成二十九年第一回議会定例会を開催した。出席者は吉田管理者をはじめ、議員等七市町村長。

はじめに、欠員となっていた議長選挙を行い、現副議長である船橋平内町長を議長に選出した。また、議長選挙に伴い欠員となった副議長は、選挙の結果、三村おいらせ町長を選出した。

次に、議案七件と報告事項一件を審議し、原案どおり承認、決定した。

道の除排雪経費の要望

県・市長会と合同で 総務省・国土交通省に



佐藤総務事務次官に要望内容を説明

本会は二月十六日、県、県市長会との合同により、道路除排雪経費に対する特別交付税の配分に関して総務省へ、財政支援に関して国土交通省へ要望した。

議案

○議案第一号 平成二十九年組合一般会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ八億七千六百六十二万六千円（対前年度比二百八十九万七千余円、〇・三%増）とする。

○議案第二号 平成二十九年組合市町村税等滞納整理特別会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ九千六百五十万円（対前年度

比千五百二十六万円、十八・九%増）とする。

○議案第三号 平成二十八年組合一般会計補正予算（補正第二号）案Ⅱ歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ七十八万七千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ八億七千三百四十四万六千円とする。

○議案第四号 平成二十八年組合市町村税等滞納整理特別会計予算（補正第二号）案Ⅱ歳入歳出予算の総額において、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ九千五百八十万円とする。

これは、町村の除排雪作業にかかる費用が増大していることを受け、国の財政支援を求め実施したものである。

要望には三村知事のほか、本会から吉田会長、市長会から小野寺会長、葛西弘前市長、宮下むつ市長が参加した。総務省では佐藤総務事務次官、黒田自治財政局長、池田大臣官房審議官、前田自治財政局財政課長、国土交通省では石川道路局長に面談し、要望活動を行った。

また、財務省、県選出国会議員には、除排雪関連経費の財政支援について要望書を提出した。

児休業等に関する条例の一部を改正する条例案Ⅱ改正理由は前号と同じ。

○議案第七号 青森県市町村等非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案Ⅱ地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉

に関する法律（平成二十八年法律第九十五号）の一部を改正する法律が平成二十八年十二月二日に公布され、附則第四条において地方公務員災害補償法の一部改正が行われたことに伴い、本組合も所要の改正を行う必要が生じたことから、提案するもの。

○報告第一号 専決処分した事項の報告及び承認を求めめるの件（組合職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（専決第七号））Ⅱ青森県職員の給与改定に準じ、本組合職員の給料月額並びに扶養手当、通勤手当及び勤勉手当の額等の改正を行う必要が生じたが、議会を招集する暇がないため専決処分したことからこれを報告し、その承認を求めめるもの。

○議案第六号 組合職員の育

医師不足対策で意見交換

町村長と県健康福祉部の意見交換会



町村長をはじめ28人が出席

三月二十三日、青森市のラ・プラス青い森で県健康福祉部の主催により、医師不足対策に関する町村長と県健康福祉部の意見交換会が開催された。出席者は町村長など二十八人。会議は、一戸県健康福祉部長からのあいさつの後、県健康福祉部から本県における医師不足の状況や、医師不足対策に関するこれまでの取り組み、今後の方向性などについて説明があった。



意見を述べる吉田会長



一戸県健康福祉部長があいさつ

説明後、意見交換が行われ、町村長らは町村における地域医療の厳しい現状と、医師不足対策の必要性を訴えた。

エネルギー政策について学ぶ

エネルギー政策特別委員会

本会は二月十日、青森市の

アツプルパレス青森でエネルギー政策に関する研修会を開催した。出席者は町村長をはじめ町村の幹部職員約四十人。

次に、東北農政局経営・事業について講演した。

はじめにエネルギー政策特別委員会の副委員長（西目屋村長）があいさつした後、ジャーナリストの河原雄三氏が「エネルギー問題を考える」と題し、再生可能エネルギーや水素技術開発の動向などに



町村長はじめ約40人が出席

地域資源を活用した産業振興について

農山漁村活性化研修会

事例発表



(有) 柏崎青果 柏崎氏

講演



ケイ・シグナル 加藤氏

本会は県市長会、県市町村振興協会との三団体共催により、二月十三日、青森市のラ・プラス青い森で農山漁村活性化研修会を開催した。出席者は県内市町村の担当者等約六十人。

研修会では、はじめにケイ・シグナル代表で青森県よろず支援拠点チーフコーディネーターの加藤哲也氏が「地域資源の活用と地域の様々な連携による『食産業』の振興」と

業支援部食品企業課長補佐の今川成毅氏が「農山漁村における再生可能エネルギー発電を巡る情勢」と題し、農山漁村再生可能エネルギー法活用のメリットや、同法の活用事例などを説明した。

また、事例発表として新郷村役場産業建設課総括主幹の福山鋼蔵氏が「木の駅プロジェクトについて」と題し、村が取り組む間伐材等を活用した活動について説明し、出席者は今後のエネルギー政策について理解を深めた。

題し、講演した。加藤氏は農商工連携における一次加工や、商品開発・製造の県内連携について、本県の実例を挙げて説明した。

続いて、農業生産法人(有) 柏崎青果代表取締役の柏崎進一氏が「世界へ羽ばたく青森の地域資源 青森における六次産業化と世界展開」と題し、規格外野菜を活用した加工品生産や、県黒にんにく協会会長として取り組む県産黒にんにくの国内外の販路拡大に向けたこれまでの活動について事例発表を行った。

町村職員採用試験

平成28年度実施状況と

平成29年度実施について

平成28年度実施状況

町村等職員（一部事務組合等含む）の任用事務の公平・効率化を図るため、本会が町村等の要請に基づき実施する町村職員採用試験の平成二十八年度実施状況は下表のとおり。

実施日は、日本人事試験研究センターが定めた全国統一試験の七月二十四日（日）と九月十八日（日）二回。また、その他の期日に個別試験を実施した。

平成29年度実施申込受付中

平成二十九年度に町村職員採用試験の実施を申込みする団体は、本会指定の期日までに、所定の様式にて本会へお知らせ願います。実施申込みや試験実施科目など、ご不明な点は本会業務共済課【電話017（723）1331】にお問い合わせ願います。

平成二十九年度町村職員採用統一試験の概要

○試験期日・職種

・第一回（上級試験）

平成二十九年七月二十三日（日）

・第二回（中・初級試験）

平成二十九年九月十七日（日）

○場所

第一、二回とも青森市内

○実施申込方法

各団体に既にご案内している「平成二十九年町村職員採用試験実施申込書」を、四月二十八日（金）までに本会へ送付願います。

○その他留意事項等

・受験者数の報告

第一回（上級試験）は六月十六日（金）、第二回（中・初級試験）は八月四日（金）

までに、受験者名簿を本会へ提出願います。

・公募方法

受験者公募の手続きは各団体が行うこととし、右記の名簿提出期日に間に合うよう公募をお願いいたします。受験票は各団体で作成し、試験当日に受験者が必ず持参するよう周知徹底を図ってください。

・試験当日の実施運営

例年、本会職員と試験実施

団体担当者が連携し対応しておりますので、ご協力願います。

・担当者事前説明会

試験係員となる試験実施団体担当者を対象とした事前説明会を七月上旬に予定しています。

ます。試験実施申込みのあった団体に後日ご案内します。

・経費負担

試験問題の作成及び採点に係る経費は、団体申込みの科目料金を申込人数に応じて負担いただきます。

・個別試験

統一試験日以外の期日の個別試験の実施は、本会は問題用紙等の提供・採点結果の送付を行います。実施団体は、試験日の一カ月前までに本会にご連絡ください。

平成28年度町村職員採用試験申込者数

(単位：人)

No.	団体名	職 種											合計			
		上 級				中 級					初 級			社会人		
		行政	土木	建築	保健師	一般	社会福祉	保健師	幼稚園教諭	栄養師	看護師	一般	消防		土木	建築
1	平内町	16			5							8				29
	平内町(平内中央病院)	2														2
2	今別町	3										4	2			16
3	外ヶ浜町											10	3			13
4	蓬田村	4										5				9
5	鯉ヶ沢町	11			1							11				23
6	深浦町					10	1					9				20
7	藤崎町	26								15						41
8	大鰐町	38	1				6					13				58
9	田舎館村	36										16				52
10	板柳町	18						1			9	6	8	1		43
11	鶴田町	14	1	1		1						6	2	1		26
12	野辺地町	10					2	1				6				19
13	七戸町	23			3							9				35
14	六戸町	23						4							9	36
15	横浜町	3								1		7				11
16	東北町	29										14				43
17	おいらせ町	29				13					5	12				59
18	六ヶ所村	9				2						15				26
19	大間町								2			14				16
20	東通村	3										5				8
21	風間浦村	4														4
22	佐井村											2				2
23	三戸町	3										2			3	8
24	五戸町	18										12	1		1	32
25	田子町	7										2			2	11
26	南部町	11									2	9				22
27	階上町	21	1		2											24
28	新郷村	2			1			1								4
29	中北上広域事業組合											14				14
30	鯉ヶ沢地区消防事務組合(鯉ヶ沢署)											4				4
	鯉ヶ沢地区消防事務組合(深浦署)												3			3
31	北北上広域事務組合											5	19			24
32	青森県市町村税務滞納整理機構														13	13
33	青森県町村会	23														23
合計		386	3	1	12	26	9	7	2	16	16	202	45	11	2	773



特選 弘前市「広報ひろさき」

本会に事務局を置く県広報広聴協議会は、一月二十四日、青森市の県共同ビルで平成二十九年県広報コンクール審査会を開催した。

同コンクールは市町村の広報活動の向上を目的に開催しているもので、県内市町村から広報紙十九点、写真三十四点、映像二点の応募があった。

六名の審査委員による厳正な審査の結果、広報紙総合の部で弘前市の「広報ひろさき」（平成28年11月1日号）が三年連続で特選、三戸町の「広報さんのへ」（平成28年12月号）が準特選となった。

上位入賞作品は、日本広報協会主催の全国広報コンクールに県代表として推薦する。

平成29年県広報コンクール
広報紙総合の部
「広報ひろさき」が
三年連続特選



準特選 三戸町「広報さんのへ」

平成29年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門（総合の部）

- 特選 弘前市 「広報ひろさき」 平成28年11月1日号※
- 準特選 三戸市 「広報さんのへ」 平成28年12月号※

広報紙部門（市部）

- 入選 十和田市 「広報とわだ」 平成28年12月1日号
- 佳作 三沢市 「広報みさわ」 平成28年7月号
- 奨励賞 青森市 「広報あおもり」 平成28年7月15日号
- 奨励賞 むつ市 「広報むつ」 平成28年1月号

広報紙部門（町村部）

- 入選 おいらせ町 「広報おいらせ」 平成28年9月1日号
- 佳作 外ヶ浜町 「広報そとがはま」 平成28年5月号
- 奨励賞 鶴田町 「広報つるた」 平成28年10月17日号

広報写真部門（一枚写真の部）

- 入選 弘前市 「広報ひろさき」 平成28年12月1日号※
- 佳作 十和田市 「広報とわだ」 平成28年10月1日号
- 奨励賞 平内町 「広報ひらない」 平成28年8月1日号
- 奨励賞 東北町 「広報とうほく」 平成28年9月1日号

広報写真部門（組み写真の部）

- 入選 深浦町 「広報ふかうら」 平成28年12月号※
- 佳作 弘前市 「広報ひろさき」 平成28年9月1日号
- 奨励賞 十和田市 「広報とわだ」 平成28年12月1日号
- 奨励賞 平内町 「広報ひらない」 平成28年9月1日号

映像部門

- 入選 該当なし
- 佳作 青森市 「世界一の豪雪地帯」※
- 奨励賞 東北町 「小川原小学校大運動会」

※印は日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦作品

審査委員

所属	職名	氏名
東奥日報社	編集局整理部長	白取心平
デーリー東北新聞社	青森支社長兼営業部長	大嶋孟之
陸奥新報社	青森支社長兼業務部長	端田雅文
青森放送	報道局報道部長	岡野誠一郎
青森テレビ	役員待遇 報道制作局長	横山一敬
青森朝日放送	役員待遇 報道制作局長 兼放送番組審議会事務局長	野崎尚史

町村長選挙結果

外ヶ浜町長

山崎 やまざき

結子 ゆいこ 氏



任期満了に伴う外ヶ浜町長選挙は、三月二十六日、投票が行われ、新人の山崎結子氏（35）が初当選を果たしました。

〈略歴〉元会社員

大間町長

金澤 かなざわ

満春 みつはる 氏



任期満了に伴う大間町長選挙は、一月十五日、投票が行われ、現職の金澤満春氏（67）が四選を果たしました。

〈略歴〉町助役、町企画調整課長

東通村長

越善 えちぜん

靖夫 やすお 氏



任期満了に伴う東通村長選挙は、三月十四日告示され、現職の越善靖夫氏（75）が、無投票で六選を果たしました。

〈略歴〉村助役、村企画課長

平成29年度町村会関係主な行事予定

会議等の名称	日時	場所
町村総務課長会議	5月9日（火） 10時	ホテル青森
正副会長会議	6月1日（木） 10時30分	町村会役員室
正副会長・理事・監事・政務調査委員長・顧問合同会議	6月1日（木） 11時	町村会役員室
平成30年度重点施策提案に係る国会議員説明会 （県・市長会との合同開催）	6月4日（日） 13時	青森国際ホテル
市町村長会議（町村の部）	6月9日（金） 13時30分	青森国際ホテル
県広報広聴協議会 理事会	6月14日（水） 13時	町村会会議室
全国山村過疎地域振興連盟県支部 理事会	6月14日（水） 13時15分	町村会役員室
発電関係市町村全国協議会県支部 総会	6月14日（水） 13時30分	町村会会議室
臨時総会	6月14日（水） 14時	町村会大会議室
市町村総合事務組合 議会臨時会	6月14日（水） 14時30分	町村会会議室
総務厚生委員会・産業経済委員会	6月14日（水） 14時50分	アップルパレス青森
監査会	7月中旬予定	町村会役員室
理事会	7月下旬～8月上旬予定	町村会役員室
町村長健康管理研修	8月22日（火）～24日（木）	
	1日目 定期総会 15時	野辺地町 まかど観光ホテル
	2日目 健康管理研修	青森市・総合健診センター
理事会	10月予定	町村会役員室
町村長行政調査研修	未定	未定
法令外負担金等委員会	10月～11月予定	町村会役員室
県選出国会議員との懇談会	11月28日（火） 17時	東京都・ホテルニューオータニ
全国町村長大会	11月29日（水） 正午	東京都・NHKホール
北東北三県町村長中央研修会 （岩手県・秋田県町村会との合同開催）	11月29日（水） 15時30分	東京都・ホテルニューオータニ
北東北三県町村長中央交流会 （岩手県・秋田県町村会との合同開催）	11月29日（水） 17時15分	東京都・ホテルニューオータニ

風間浦村長

とみおか
富岡

ひろし
宏氏



前村長の死去に伴う風間浦村長選挙は、二月十九日、投票が行われ、新人の富岡宏氏（54）が初当選を果たしました。
〔略歴〕村教育委員会事務局教育課副参事

町村の魅力発信事業助成事業を是非活用ください

「町村の魅力発信事業助成事業」は、平成29年度もこれまでと同様の趣旨で実施しますので、積極的な活用をお願いします。

■主な助成内容

- 1 助成金額…1町村当たり、平成29年4月1日から平成30年2月28日までに実施する事業に対し、200万円を限度に実費助成
 - 2 助成対象経費
謝金、旅費、印刷製本費・複写費、賃借料、通信運搬費、共同事業に関する負担金、その他事業を行う上で本会会長が必要と認める経費
 - 3 助成対象事業例
・ イベント等開催に係る観光振興等に係る事業
・ 地域活性化に貢献できる人材育成・確保事業
・ 産業振興上必要な事業
・ 地域資源の発掘、活用による商品開発、需要拡大事業
・ 地域のイメージアップ・環境整備につながる施設整備事業
- 申請期限
平成29年5月31日（水）までに、別に定める事業計画申請書を本会へ提出願います。
- 問合せ先
町村の魅力発信事業助成事業に関しては、本会業務共済課（電話…017-723-1331）までお問い合わせ願います。

青森県町村長等名簿

平成29年4月1日現在
町村数30町村(22町8村)

町村	区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24.7.17	2	31.11.14	山田光昭
	今別町	阿部義治	S25.9.18	1	29.10.12	
	外ヶ浜町	森内勇	S13.3.2	3	29.4.23	沼田謙市
	蓬田村	久慈修一	S25.8.1	1	29.11.8	
西郡	鱒ヶ沢町	東條昭彦	S16.4.15	2	29.12.26	佐藤薫
	深浦町	吉田満	S28.9.9	3	32.12.20	菊池雄司
中郡	西目屋村	関和典	S42.2.24	3	30.2.25	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32.6.2	2	31.11.19	五十嵐晋
	大鰐町	山田年伸	S27.3.11	2	30.7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12.2.10	4	32.11.17	葛西幸男
北郡	板柳町	成田誠	S28.3.4	1	31.4.29	村上孝夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	1	30.8.20	
	中泊町	小野俊逸	S17.7.29	5	29.4.23	秋元良一
上北郡	野辺地町	中谷純逸	S24.8.16	2	31.10.26	松山英樹
	七戸町	小又勉	S24.1.2	3	29.4.23	似鳥和彦
	六戸町	吉田豊	S25.3.28	7	32.1.27	保土澤正教
	横浜町	野坂充	S26.1.31	4	32.12.11	新渡喜広
	東北町	斗賀壽一	S19.7.2	2	29.4.23	
	おいらせ町	三村正太郎	S24.10.7	5	30.3.25	
下北郡	六ヶ所村	戸田衛	S22.1.28	1	30.7.6	橋本晋
	大間町	金澤満春	S25.3.9	4	33.1.18	菊池武利
	東通村	越善靖夫	S17.1.7	6	33.4.12	林春美
	風間浦村	富岡宏	S37.4.27	1	33.2.18	
	佐井村	樋口秀視	S26.4.10	1	30.4.26	
三戸郡	三戸町	松尾和彦	S38.5.9	1	32.12.15	
	五戸町	三浦正名	S29.1.1	5	31.6.26	鳥谷部禮三郎
	田子町	山本晴美	S39.4.10	2	32.1.14	原昌徳
	南部町	工藤祐直	S30.5.22	5	30.2.11	坂本勝二
	階上町	浜谷豊美	S31.8.23	3	29.12.23	沼沢範雄
新郷村	須藤良美	S15.3.29	3	29.5.28	横田孝夫	



町の産業振興の拠点「板柳町ふるさとセンター」本館

とことん りんごにこだわり続けます

りんごを軸に産業振興、地域振興

りんごの苗木が入ってきた明治九年から百四十年にわたり、りんごとともに歩んできた板柳町は、名実ともに「りんごの里」。まちづくりもりんごにこだわった取り組みが随所にあらわれています。

りんごを町おこし・観光の資源に

りんごによる1・5次産業おこしと体験農業の推進など、農家の所得安定に向けた町おこし施策として設立された「板柳町ふるさとセンター」は、人とりんごのコミュニティケーションを満喫できる施設です。りんごに関する様々な資料が展示されている本館をはじめ、お菓子や陶芸、草木染など、りんごを素材とした多彩な製品づくりが体験できる工芸館、多様な品種のり

んご狩りが楽しめる「りんごもぎとり園」など、見て、聞いて、味わって、りんごのことがまるごとわかる空間となっています。また、木のぬくもりがいつぱいの「コテージ」やレストラン、温泉施設を備えた「ステイゾン」では宿まりがけの利用も可能、そのほか、地元の生産農家が新鮮な野菜や加工品を直接消費者に提供する「とれたて市」もあり、地域性豊かな滞在型観光による産業振興を推進しています。

選りすぐりの味

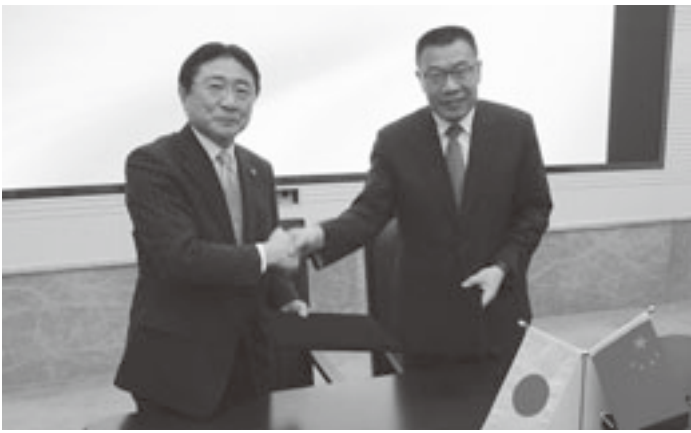
「りんごワーク」ブランド

ふるさとセンター内にある「(一財)板柳町産業振興公社りんごワーク研究所」は、りんごをまるごと使った取り組みを展開しています。同研究所の自慢の一つが、「りんごワーク」ブランドの完熟りんごジュースとジャム。町内の熟練農家の栽培技術から生まれた良品質のりんごの中から特に完熟したものを厳選し、選りすぐりの味を確立しました。ジュース、ジャムのほか、ビネグレット、ゼリー、りんごの繊維入りクッキー、りんご樹皮加工品など、様々な加工品を生み出しています。りんごを追求する姿勢は設立当初と変わらず、常に模索、研

究を続けています。

国際交流や 教育活動にも

りんごが取り持つ縁で国際交流も生まれました。アメリカ合衆国ヤキマ市とは、ともにりんごの生産地であることから昭和四十七年に姉妹都市を締結、以来、中学生の派米研修などを中心に文化的な交流を続けています。さらに、平成五年には中国北京市昌平区（現在は昌平区）と友好協定を結び、同市内の中日友好



友好都市である中国北京市昌平区の張燕友区長と成田町長が友好交流に関する覚書を調印して握手

観光果園へのりんご生産技術指導者の派遣協力をはじめ、小学生が研修で訪問し合うなど、産業面、文化面等において積極的に交流を進めています。

また、小学校では、地元農家の協力を得てりんごの生育について学び、収穫作業を体験するなど学習にも取り入れ、県立板柳高校では、調理部が「干しりんご」を開発し、活用法や普及策を研究しています。



授業の一環としてりんごの袋かけを体験する児童

りんごで 世界記録達成！

昨年十二月十一日、町特産のりんごを食べさせ合う「りんごまるかじりリレー」で世界記録に挑戦し、千百一人で世界記録を達成しました。会場は、町内にある全国唯一のりんご専門市場「津軽りんご市場」、挑戦参加者、協力者など大勢が心を一つに合わせ、見事、世界記録の樹立となりました。



「りんごまるかじりリレー」で世界記録に挑戦しました

たゆまぬ研究から
生み出された
「りんごワーク」ブランド

完全アップルジュース
『スペシャルフレンド』
アップルジャム

今後の展望

町では平成十四年に制定した「りんごまるかじり条例」（正式名称「りんごの生産に

おける安全性の確保と生産者情報の管理によるりんごの普及促進を図る条例）をもとにトレーサビリティシステムを確立し、引き続き、消費者が求める安心で安全な農作物を供給する取り組みを推進していきます。また、ふるさとセンターをりんご産業、観光拠点として最大限活用するほか、りんごをはじめとした町特産品を国内外で競争できるブランドに強化・育成するとともに、国際交流などりんごを通じた交流を深化させ、「りんごの里」の魅力をさらに見だし、発展させていきます。※板柳町の取り組みに関するお問い合わせは、板柳町役場企画財政課（0172-731111）までお願いします。



問い合わせ先 よもぎた物産館マルシェよもぎた
TEL 0174-31-3040

「けちゅっぷ・ソース・ジャム」など完熟した桃太郎トマトで作った加工品は、無添加・無着色でトマトの旨みがぎゅっと詰まった逸品です。「けちゅっぷ」は塩分が控えめなので、料理にたっぷりとかけてお召し上がりください。「ソース」は様々な料理に使用できますので、パスタやスープなどお好きな料理でお楽しみください。

桃太郎トマトで作る！
完熟トマトの加工品

いまが旬!
よもぎたむら
蓬田村

東津軽郡



問い合わせ先 深浦マグロ料理推進協議会事務局
(深浦町役場観光課内)
TEL 0173-74-4412

2016年4月に、深浦町役場内食堂では全国初となる新・OMOTENASHIご当地グルメ専門提供店「深浦町役場マグステ食堂」がオープンしました。冬期間は休業していましたが、4月1日(土)から営業を再開し、休日となると多くのお客様がマグステ丼を楽しんでいます。

海沿いをドライブしながら訪れてみてはいかがでしょうか。

○営業時間：11時～14時

(11月まで、期間中無休)

全国初!
役場でマグステ丼を満喫

いまが旬!
ふかうらまち
深浦町

西津軽郡



問い合わせ先 田舎館村むらおこし推進協議会
(事務局：田舎館村役場企画観光課)
TEL 0172-58-2111 (代表)

地元生産者が栽培したナス、キュウリ、トマトなどの野菜苗や色とりどりの花壇苗を展示即売する「苗っこまつり」を今年も4月29日(土)午前8時から午後3時まで、田舎館村克雪トレーニングセンター(田舎館中学校向かい)で開催します。昨年も多くの来場者で賑わいを見せ、毎年大盛況です。皆様のご来場をお待ちしております。

新鮮な野菜苗や
花壇苗を展示即売

いまが旬!
いなかだてむら
田舎館村

南津軽郡



問い合わせ先 七戸町役場商工観光課
TEL 0176-62-2137

見ごろを迎える500株もの「つつじ」が皆さまをお出迎えします。真っ赤なつつじが天王神社境内を彩る姿は圧巻。期間中はライトアップが施され、昼と夜とで違った美しさを堪能できます。

また、5月14日(日)は、町内の団体がオリジナルピザの味を競い合う「第6回ピザカーニバルin七戸」が会場付近で開催されますので、来場はこの日がオススメです!

○開催期間：5月3日(水)～5月21日(日)
(ライトアップ 19:00～21:00)

真っ赤なつつじが境内を彩る
「天王つつじまつり」

いまが旬!
しちのへまち
七戸町

上北郡

いまが旬!

おいらせ町

上北郡

おいらせ町春まつり

日本一の自由の女神像がそびえる「いちょう公園」と白鳥飛来地で有名な間木堤がある「下田公園」の2会場で「おいらせ町春まつり」を開催します。家族や友人同士でどうぞお越しください。

- 開催日 4月29日～5月7日まで
- 会場 いちょう公園（青森県上北郡おいらせ町東下谷地内）
下田公園（青森県上北郡おいらせ町山崎等）



問い合わせ先 おいらせ町観光協会(役場商工観光課内)
TEL 0178-56-4703

いまが旬!

大間町

下北郡

陸マガロ(大間牛)と大間マガロ

大間町では、年間を通して食べられるようになった「陸マガロ(大間牛)」と、誰もがご存知「大間産マガロ」を「食べ比べコース」として料理提供をしています。

大間自慢の「マガロ」を食べに、ぜひお越しください。
※時期によっては品切れになることもありますので、事前にお問合せください。



問い合わせ先 大間町海峡保養センター
TEL 0175-37-4334

いまが旬!

五戸町

三戸郡

ビックリ夜店

中心商店街が夜店に変身! 通りを歩行者天国にして、五戸町のど真ん中をわがもの顔で歩きまわるチャンス!

各種イベント、出店、そしてビアガーデンなどで子どもも大人も楽しめる夏のイベントです。また、歩行者天国ですので、路上で自分を表現したいというパフォーマーの参加募集中です。参加したいと思う方は、事前下記連絡先までご連絡ください!

- 期間: 平成29年7月25日～7月27日
- 時間: 18:00～20:30



問い合わせ先 五戸町中心商店街活性化チーム(プロジェクトV)
TEL 0178-62-3151

いまが旬!

南部町

三戸郡

法光寺 承陽塔 国登録有形文化財に

南部町にそびえ立つ名久井岳山麓の名刹「法光寺」。その歴史深い境内に建立されている「承陽塔」を国登録有形文化財に登録することが、平成29年3月10日に国文化審議会で答申されました。承陽大師(曹洞宗開祖、道元禪師)の遺骨を奉安するために建立され、木造の三重塔としては国内最大級の規模で総高33mを誇ります。

5月3日・4日には「南部町春まつり」も法光寺境内で開催されますので、ぜひ、ご一緒にご覧ください。



問い合わせ先 南部町役場社会教育課史跡対策室
TEL 0179-34-2132

● 共済契約できる自動車

1. あなたの所有する
2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車 ● 原動機付自転車

● 共済掛金と共済金額

共済金額	用途及び車種区分	共済掛金額（年間）			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)
A型	対人賠償 無制限	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円
	対物賠償 1,000万円				
	自損事故傷害共済 1,500万円				
	限定搭乗者 500万円				
B型	対人賠償 無制限	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円
	対物賠償 無制限				
	自損事故傷害共済 1,500万円				
	限定搭乗者 1,000万円				

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済(保険)に加入できます

○町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済(保険)に加入する場合、新規契約と比較して

43%割引（9等級）からスタート！

- 一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**
- 保険料分割払（12回）も選択可能です。
- **NEW!!** 平成29年1月からロードサービスが自動付帯

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部
青森県町村会業務共済課 [共済事業] TEL 017 (723) 1331



万一の事故に備えを！

自動車共済

青森県町村会等事務分担

(平成29年4月1日現在)

青森県町村会

常務理事兼
事務局長

小笠原 靖介

課・職名・氏名	主要担当業務
総務課 次長・総務課長事務取扱 土岐 昌二 総括主幹 上原俊一郎 主幹 阿部布由子 主幹 小野 喬史 臨時事務手 石塚 久恵 臨時事務手 神 楓花	人事、規約・諸規程の改廃、 予算、関係諸団体等との連絡 調整、各業務の調整、総会そ の他の諸会議、総務厚生委員 会、顧問弁護士、表彰、軽自 動車税申告台数調べ、文書の 收受・発送、各団体の予算経 理、現金・有価証券の出納・ 保管、決算、物品の出納・保 管、他の所管に属しないこと
業務共済課 課長 吉本 知己 (業務関係) 副幹事 原子美香子 主幹 大坂 謙 主幹 嶋田 裕哉 (共済関係) 総括副参事 小松田 真 副参事 澤田 博美 主幹 今 卓也 非常勤事務員 松田 清子 臨時事務手 白鳥 玲	(業務関係) 事業計画、町村行財政の調査、 産業経済委員会、エネルギー 政策特別委員会、法令外負担 金の規制、要望・請願、町村 長等・市町村職員の研修会、 会報「あおもり町村自治」、町 村職員採用試験、町村の振興 発展に関する調査・研究、県 広報広聴協議会、全国山村過 疎地域振興連盟県支部、発電 関係市町村全国協議会県支部 (共済関係) 公有建物・自動車共済、職員

確かな安心を！

住宅火災共済



安い掛金で大きな補償を

●共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物、または、その建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に同居している建物または、その建物内にある動産

●共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。

契約額の最高限度は、600口で、6,000万円が限度です。

共 済 契 約 の 最 高 限 度			
区 分	口 数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

風水雪害特約制度

風水雪害特約制度は、風水雪害による損害について、火災共済契約に任意に付加することにより共済金を支払う特約制度です。特約を付加していない場合、風災、水災又は雪災による損害は、損害額が50万円以上の場合、損害の程度に応じ給付され、全損の場合では100分の10又は450万円のいずれか低い額の給付ですが、特約に加入することにより、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して風水雪害特約共済金を損害額の50%又は火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に支払います。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）特約共済掛金は、一口10万円につき50円です。（火災共済契約と同額を特約共済金額とします。）



青森県市町村総合事務組合

事務局長 小笠原 靖 介

課・職名・氏名	課長・総務課長事務取扱・ 総務課 次長・総務課長事務取扱・ 会計管理者 総務課 総括主幹 土岐 昌二 主幹 上原俊一郎 主事 阿部布由子 主事 小野 喬史	主要担当業務 消防団員等公務災害補償等に 関する事務、非常勤職員公務 災害補償等に関する事務、自 治会館の管理・運営に関する 事務
市町村税滞納整理機構 滞納整理課 機構長 對馬 淳一 滞納整理課長 高橋 淳一 副 参 事 伊藤 義章 総括主幹 平野 法泉 総括主幹 今野 晋也 主幹 野藤 武志 主査 加藤 奨 主査 山口 昇 主事 関口 俊輔 専門員 工藤 晃博 専門員 横山 麻美 専門員 阿部 直子 臨時事務手 福井 直子	市町村税等の滞納整理に関する事務	

火災・自動車共済、特定疾病
 保険、任意共済保険、団体定
 期保険、総合賠償補償保険、
 個人年金共済、災害対策費用
 保険、消防設備資金

野辺地町長

なか や
中谷

じゅん いっ
純逸



随想

第33話

プロフィール
県議会副議長。
現在2期目、67歳。

町制施行百二十周年 笑顔あふれるまちのへじ

野辺地町は、明治二十二年四月一日の市町村制施行によって野辺地村、馬門村、有戸村が合併して野辺地村となり、同三十年八月二十八日に町制を施行し、今年、町制施行百二十周年を迎えます。

当町は、青森県北部の下北半島と夏泊半島に挟まれたむつ湾に沿った湾入域に位置し、北をむつ湾に面し、南に八甲田連峰の山麓を背負い、東には緑豊かな丘陵が続いています。

気候は、ヤマセの影響を受けて一年を通じて冷涼であり、冬は青森県内でも有数の多雪地帯で、厳しい風土は、同時に豊かな産物をもたらしてくれます。「ぢまきはたて」や「野辺地ナマコ」などの豊富な海の幸、「葉つきこかぶ」などの冷涼な気候が育てる畑の幸など、美味しいものが四季を通して一年中満喫できます。

古代の遺跡から発掘された板状立脚土偶や赤漆塗木鉢は国の重要文化財に指定され、先史時代から人々が住んでいたことが知られています。

また、古くから交通の要衝として発展し、さらに北前船の往来による交易が盛んになったことで、盛岡藩有数の商港として繁栄してきました。近年では、自動車や鉄道等交通機関の発達、さらには東北新幹線の全線開業や下北半島縦貫道路の開通による交通体系の変化により、年々観光客が減少傾向にあり、最新の県内市町村別観光入込客数では下位に低迷しています。

このような現状を踏まえつつ、「野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成二十七年度に策定し、「郷土の生業を創る」、「郷土の住みやすさを実現する」、「郷土の人の体と心を守る」、「郷土をますます愛し育む「人財」を育てる」の四つの基本目標を掲げ、その実現に取り組んでいるところがあります。



復元北前型弁才船「みちのく丸」

このうち「郷土の生業を創る」ことを実現するための施策として、当町が所有する復元北前型弁才船「みちのく丸」を拠点とした「ベイフロント計画」を推進することとしております。

平成二十八年十月にオープンいたしました産直施設「のへじ活き活き常夜燈市場」では、新鮮な魚介類や地場野菜をはじめとした地元特産品を扱っています。

今後は、海の駅などの物販・交流施設を整備し、海、常夜燈、みちのく丸のセットによる観光振興を図ってまいりたいと考えております。

また、本年九月に町制施行百二十周年の記念事業といたしまして、「北前船寄港地フォーラム」を開催すること

としております。北前船の寄港地が交流し活性化策を探るこのフォーラムの開催を契機に、野辺地町をさらに全国に発信してまいりたいと考えております。

当町を取り巻く社会情勢は、人口減少、少子高齢化、外国人旅行者の増加、観光誘致圏の拡大、競合の激化、観光ニーズの多様化などが進んでおり、それらの環境変化に対応していかなければなりません。

当町の将来像である「笑顔あふれるまちのへじ」の実現のために地域が一丸となつて、当町が交通の要衝であった特徴や町内に点在する地域資源を観光に反映させ、行政だけではなく、町全体が役割分担しつつ推進することを明確に位置づけてまいりたいと考えております。



のへじ活き活き常夜燈市場